



セネガル国月報

2014年6月

在セネガル日本国大使館



主な出来事

内政

- 5日、チェス移動閣議が開催され、同州の開発のために合計4,480億 Fcfaの支出が発表された。
- 17日、カリム・ウッド元大臣弁護団は、パリ財政検事局に付託されていた同元大臣による財の不正取得疑惑が不起訴処分とされた旨を発表した。
- 29日、全国で地方選挙の投票が実施された。ダカール、チェス、サン・ルイ、ジガンシオール、コルダなど全国の主要都市において与党「希望のための結束」連合(BBY連合)の敗北が予想される。

外政

- 14日から15日にかけて、NEPADダカール・ファイナンス会合が開催され、サル大統領、ジョナサン・ナイジェリア大統領、ケイタ・マリ大統領、ヤイ・ベナン大統領、ジョップ世銀アフリカ担当副総裁、カベルカ・アフリカ開発銀行総裁、ズマ AU委員長らが出席した。
- 26日、サル大統領はマラボ(赤道ギニア)で開催された AU 首脳会合に出席した。

経済

- 4日、政府はタンバクンダ州ファレメ鉄鉱山の開発中止に関する賠償金1億1,000万ユーロを印系国際鉄鋼メーカー・アルセロール・ミタル社から受領した。
- 31日、セネガル・エアラインズ社は、エアバス3機をリース元の米 GECAS 社に返却した。今後は自社保有の2機で国内線及び国際線を運行することとなる。

内政

1 地方選挙

- 15日午前0時、29日に投票が行われる地方選挙に向けた選挙キャンペーンが開始された。(16日 APS)。
- 22日、ウッド前大統領はダカール市ワカム区、ンゴール区、パドワ区、グラン・ヨフ区で選挙活動に参加したが、プラトー区に移動しようとしたところ、治安部隊に同区への立ち入りを阻止された(23日 Populaire、Walfadjri)。
- 25日未明、ウッド前大統領はマタム州マタム市を訪問し、さらに同日、サン・ルイ州ポドール市、ウマル・サール野党セネガル民主党(PDS)ナショナル・コーディネイターが市長を務め、さらに続投を目指して立候補を表明している同ダガナ市及び同サン・ルイ市を訪問した(26日 Sud Quotidien、Walfadjri)。
- 29日、全国で地方選挙の投票が実施された。同日、ジャロ内相はコミュニケを発表し、投票は全国的に平和裏に行われた旨、またセネガルの政治家の成熟度を賞賛する旨述べた(30日 APS)。

- 29日、トゥーレ首相は、ダカール市グラン・ヨフ区において同首相率いる与党BBY連合がサル現ダカール市長率いる「ダカールのために(Taxawu Ndakar)」連合に破れたとの仮結果を受け、ラジオ出演の際に同市長の勝利を祝福する旨述べた(29日 APS)(当館注:この時点での仮結果は各投票所が独自に発表した数字に基づくもの)。
- ダカール、チェス、サン・レイ、ジガンシオール、コルダなど全国の主要都市において与党BBY連合の敗北が予想される(30日 Walfadjri)。
- 30日、サン・レイ市長を務めるジェイ通信・IT経済大臣は、同市選挙において落選との仮結果を受け、辞任を発表した(30日 APS)。

2 チェス移動閣議

- 4日、移動閣議に先立って開催された第10回省庁間開発会議(CIMD)において、トゥーレ首相はチェス州の開発のため、2014年から2016年の3か年投資計画(PTIP)においてすでに支出が決定されている2,470億 Fcfaに加え、さらに2,010億 Fcfaを支出する旨発表した(5日 Populaire)。
- 4日、サル大統領は10年以上閉鎖されているチェス市内の繊維工場「新セネガル繊維会社(NSTS)」の再開を発表した。同大統領によると、これにより435人の雇用が見込まれる(5日 Quotidien)。
- 5日、移動閣議が開催された。サル大統領は前日に発表された合計4,480億 Fcfaの支出で市内ラット・ジョール・スタジアムの改修工事、ダカール・バマコ鉄道の改修等を実施する旨、また、さらに30億 Fcfaを支出して292教室を建設する旨発表した(6日 Sud Quotidien)。

3 野党PDS及びワッド前大統領動向

- 2日、ワッド前大統領はパリに向けて出発した(3日 Seneweb、Quotidien)。
- 12日、ワッド前大統領は夫人とともにダカールに到着した(13日 Dakaractu)。
- 12日、財の不正取得抑制のための監査院(CREI)本部前でPDS党員がカリム・ワッド元大臣との面会許可を求めるデモを実施し、ウマル・サール同党ナショナル・コーディネーターら数名が責任者として治安部隊に拘束されたが、のち釈放された(13日 Seneweb)。

4 社会党(PS)党首選挙

- PS党首選挙において、現党首のタノール・ジェン候補が得票率93.93%で当選した。対立候補のアイサタール・サル・ポドール市長は6.05%の得票で落選した(4日 Observateur)。

5 前政権の不正追及

- 国際人権連盟(FIDH)は、セネガル人権リーグ及び人権擁護団体(RADDHO)と連名のコミュニケを発表し、CREIが被告の権利を保障しておらず、政治的操作が人権に優先されている旨非難した(10日 Quotidien)。

- 17日、パリ弁護士会長を含むカリム・ウッド元大臣弁護団はパリで会見を開き、パリ財政検事局に付託されていた同元大臣による財の不正取得疑惑が不起訴処分とされた旨発表した(18日 Observateur)。
- 23日、仏外務省は、セネガル政府よりカリム・ウッド元大臣にかかる新たな司法手続き協力の依頼を受け、実施中である旨発表した(24日 Observateur)。

6 薬物関連

- 11日、首相府で薬物取引に関する意見交換会が開催され、トゥーレ首相、ティン国防相、税関・憲兵隊及び警察関係者、ラパク国連薬物犯罪事務所(UNODC)所長らが出席した。ティン国防相は、セネガルが域内における薬物取引の要衝となっていることに対して注意を呼びかけた(12日 Observateur)。
- 26日、ダカールで軍・警察関係者の出席のもと、昨年ダカール州内で押収された大麻 8,418 キロ及びコカイン約 15 キロを焼却処分するセレモニーが行われた。違法薬物の押収量は、2010年から14年の間に4倍に増加している(26日 APS)。

7 トゥーバにおけるムスタファ・シセ・ロー議員宅襲撃

- 20日、トゥーバで与党共和国同盟(APR)所属のムスタファ・シセ・ロー国民議会議員の所有する住宅2軒とパン屋1軒、車両1台がムリッド教団の信徒の襲撃を受け、放火されて全焼した。同議員は同教団第2代総カリフの息子であるスリニュー・アブ・ファター氏に対して電話で侮蔑的な発言を行った際の録音がインターネット上に流出したことから、同教団の信徒から批判されていた(21・22日 Observateur、Populaire)。

外政

1 ニヤス国民議会議長のコートジボワール訪問

- 4日から8日にかけて、ニヤス国民議会議長はコートジボワールを訪問し、ウワタラ大統領、ダンカン首相、ソロ国民議会議長らと会談した。ソロ議長との会談においては、昨年6月に合意された経済開発とインフラ開発のための経験の共有にかかる合意議定書の実施状況につき評価が行われた(10日 Seneweb)。

2 カバ法相の国際刑事裁判所(ICC)締約国会議等出席

- ハーグ(オランダ)を訪問中のカバ法相は、英仏及び複数のICCローマ規定締約国の大使、ICC裁判所長らと会談を行った。同相は12日、ICC締約国会議において演説を行った後、さらにブリュッセルを訪問し、ICCに関して発言を行う(12日 Soleil)。

3 ンジャイ外相のジュネーブ軍縮会議出席

- 10日、ンジャイ外相はジュネーブ軍縮会議において演説を行い、近年の議論の停滞について遺憾の意を表すとともに、核兵器を含む兵器削減のための作業プログラム採択を訴えた(12日 Soleil)。

4 ンジャイ外相のポルトガル訪問

- 11日、ンジャイ外相はセネガル・ポルトガル合同委員会第2回会合に出席するため、ポルトガルを訪問した。同会合の主目的は、両国の政治的関係を強化し、2014年/2016年協力プログラムの優先分野、また二国

間貿易及び民間投資を強化するための戦略を検討すること(11日 APS)。

- 12日、ンジャイ外相はムラルジ・ポルトガル諸国共同体(CPLP)事務局長と会談し、ギニアビサウの永続的な平和のためにドナーの協力を求めた。ムラルジ事務局長は、ギニアビサウに対して大きな責任を負うセネガルに期待する旨述べるとともに、セネガルがECOWASの場においてギニアビサウの「弁護人」となるよう求めた(13日 Soleil)。

5 西アフリカ薬物委員会

- 12日、西アフリカ薬物委員会(WACD)はダカールで報告書を発表し、委員長のオバサンジョ元ナイジェリア大統領及び同委員のアナン元国連事務総長らは、薬物の取締りは公衆衛生及び社会の問題を悪化させ、刑事裁判上の負担となり、また汚職を促進するとして、個人的な目的での薬物の所持及び消費を処罰の対象としないことを求めた(12日 APS)。

6 NEPAD ダカール・ファイナンス会合

- 14日から15日にかけて、NEPAD ダカール・ファイナンス会合が開催され、サル大統領、ジョナサン・ナイジェリア大統領、ケイタ・マリ大統領、ヤイ・ベナン大統領、ジョップ世銀アフリカ担当副総裁、カベルカ・アフリカ開発銀行総裁、ズマ AU 委員長らが出席した。同会合においては、ダカール・バマコ鉄道の近代化を含め、PIDA(アフリカ・インフラ開発プログラム)の中から16のインフラ整備プロジェクトが選定された(15日 PANA、Soleil)。

7 ンジャイ外相のイスラム協力機構(OIC)第41回会合出席

- 18日から19日にかけて、サウジアラビアを訪問中のンジャイ外相は、イスラム協力機構(OIC)第41回会合に出席し、加盟国間の経済的パートナーシップを強化することを訴えるとともにイスラム金融の重要性を強調した(20日 Soleil)。

8 サル大統領のギニアビサウ大統領就任式出席

- 23日、ギニアビサウを訪問中のサル大統領は、ヴァス新大統領の就任式に出席した(24日 Soleil)。

9 AU 首脳会合

- 25日、サル大統領はマラボ(赤道ギニア)で開催される AU 首脳会合の前日、NEPAD ダカール・ファイナンス会合の概要について各国代表に説明を行った。同日、サル大統領は NEPAD 首脳オリエンテーション委員会に出席した(25日 APS)。
- 26日、サル大統領はマラボで開催された AU 首脳会合に出席した(26日 RFI)。

10 ナイジェリアにおける爆弾テロ事件への非難声明

- ンジャイ外相は、25日にアブジャ(ナイジェリア)で発生した爆弾テロにより在留セネガル人1名を含む犠牲者が出たことに関し、テロ行為を非難するとともにナイジェリア国民及び政府、セネガル人犠牲者の家族に哀悼の意を表するコミュニケを発表した(26日 APS)。

経済

1 セネガル新興計画(PSE)支援プログラム

- 3日、バ経済・財政大臣、ジボ UNDP 常駐代表兼国連システムコーディネイター及びジャーニュ UNFPA 常駐代表は、PSE 実施オペレーション事務所(BOSSE)の機能強化を目的とする「PSE 支援プログラム(10 億 Fcfa)」契約に署名した。同プログラムは、国連が CG 会合の際に支援を表明した 1,100 億 Fcfa の一部を用いて実施される(4日 Soleil)。

2 ファレメ鉄鉱山開発にかかる訴訟

- 4日、政府はタンバクンダ州ファレメ鉄鉱山の開発中止に関する賠償金 1 億 1,000 万ユーロを印系国際鉄鋼メーカー・アルセロール・ミタル社から受領した(6日 Jeuneafrique)(当館注:2007年、アルセロール・ミタル社は銅鉱山及び関連インフラ開発(港及び鉄道建設)への投資 22 億米ドルについてセネガル政府と合意したが、2009年、金融危機の影響を受けて投資前に撤退した。これを受けてセネガル政府はパリ国際商工会議所(ICC)国際仲裁裁判所に同社の契約不履行を訴えたところ、2013年9月、セネガル政府の勝訴が確定した)。

3 IMF 第7回経済・財政プログラム・レビュー

- IMF は第7回経済・財政プログラム・レビューにおいて、セネガルの政治経済支援インストルメント(ISPE)の実施状況は良好である旨明らかにした(24日 Populaire)。

4 セネガル・エアラインズ社関連

- 31日、セネガル・エアラインズ社は、ワッド政権下でリースされたエアバス3機をリース元の米 GECAS 社に返却した。今後は自社機であるボーイング 737-300 で域内国際線、同 CRJ100 で国内線及び近隣国線を運行することとなる(6日 Observateur)。
- アフリキヤ航空(リビア国営航空会社)のアルガディ社長はサル大統領と会談を行い、同社とセネガル・エアラインズとの業務提携を行いたい意向を明らかにした(25日 APS)。

5 ダカール・ジガンシオール間輸送船「ジヨゲ」引き渡し

- 21日、ジガンシオール港において、ダカール・ジガンシオール間の海運に従事するセネガル海洋活動コンソーシアム(COSAMA)に対し、2,155 トンの輸送船「ジヨゲ Diogué」の引渡し式が行われた(23日 Sud Quotidien)。

(注)「セネガル月報」は、セネガルの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)